

学校再編準備委員会(第2回総務部会) 結果概要

■ 開催日時 令和6年7月11日(木) 午後7時から午後8時10分まで

■ 開催場所 合川小学校 レインボーホール

■ 出席者 【委員】9人

【教育委員会事務局】4人

参事兼教育政策課長

教育政策課副参事兼政策推進グループリーダー

政策推進グループ(2人)

■ 傍聴者 1人

■ 事項

1 開会(教育政策課長挨拶)

2 協議事項

- ・「校名」の公募について

地域・保護者用応募用紙 資料1

児童生徒用応募用紙 資料2

他市町先行事例 資料3

→資料に基づき説明。その後、質疑応答及び意見交換。

《質疑応答、意見交換》

(参加者)

- ・未就学児は応募資格が無いのか。

(教育委員会事務局)

- ・天栄中学校区に在住の方というところに未就学児の保護者が当てはまる。
- ・未就学児が校名を考えるのは難しいと考え、このような表現としている。

(参加者)

- ・就学前施設を利用しているのは天栄中学校区に住んでいる人だけではない。
- ・令和14年開校予定の義務教育学校は、天栄中学校区以外の児童生徒も通学可能という方向性があったと思うので、対象範囲を広げられないか。

(参加者)

- ・ 地域の学校であり、対象範囲を広げすぎると愛着が生まれにくいと思うので、対象は広げなくてもいいと思う。

(参加者)

- ・ 未就学児から校名の意見があった際に、親の名前で応募するのは問題ないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 応募資格があれば問題ない。
- ・ 再編計画を作成する際に、未就学児の保護者の意見もいただきたいということを踏まえ、天栄中学校区にある就学前施設の合川保育園、サン認定子ども園、白百合幼稚園、いそやま保育園にチラシを置かせてもらったことがある。

(参加者)

- ・ 就学前施設の窓口に応募用紙が置いてある方がいいと思う。

(参加者)

- ・ 未就学児の保護者間で情報交換することもあると思う。

(教育委員会事務局)

- ・ 未就学児の保護者も、地域の回覧や広報への折り込みで、応募用紙を目にする可能性はある。
- ・ 応募資格が広がることにはならないため、就学前施設にも応募用紙を設置する方向で問題ないか。

(参加者)

- ・ 問題ない。

(教育委員会事務局)

- ・ 卒業生を対象とするかどうかというところで意見があればお願いしたい。

(参加者)

- ・ 現在の案でも天栄中学校区に住んでいる卒業生は応募可能である。

(参加者)

- ・ 地元から離れた卒業生に対しての周知方法が難しいため、今の案でいいと思う。

(参加者)

- ・ 義務教育学校の開校に関して、最初の文章で触れているが、ぼんやりしているため、義務教育学校に繋がるといった表現をしてほしい。

(参加者)

- ・ 自分もそう思う。

(参加者)

- ・ 前回の会議でも同じような意見があったと思う。

(参加者)

- ・ 学園という名前でも応募可能なように、応募用紙の小学校という記載を抜いてはどうか。

(参加者)

- ・ 前回の会議でも義務教育学校を見据えての校名という意見が多くあったので、表現方法を考えてもらった方がいいかもしれない。

(参加者)

- ・ 義務教育学校を見据えた校名が駄目な理由があるのか。

(参加者)

- ・ 今回決まった校名が義務教育学校の候補になるという表記をどこかにしてもらえるのであれば、問題ないと思う。

(教育委員会事務局)

- ・ 今回決まった校名を義務教育学校の候補の1つとして残すということを明記するかどうかは悩んだところである。

(参加者)

- ・ 義務教育学校を見据えた校名であることと明記すればいいのではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ その部分を念頭に置いて、応募してもらいたいと考えているが、表現方法は検討させていただく。

(参加者)

- ・ 応募用紙の応募条件に、校名に込めた思いや理由等を必ず記入することと記載があるが、応募フォームの内容と合わせて、理由が無記入の場合は受付しないことを明記するべきだと思う。

(参加者)

- ・ 新たな小学校の校名は、地域の思いが込められたものになるように進めるとされているが、地域の思いが込められた名前のイメージがあまり湧いてこない。

(教育委員会事務局)

- ・ 応募があった校名案から選定を行う際に、理由を踏まえて考えていくことになると思う。

(参加者)

- ・ 栄や天栄という校名は有効になるのか。

(参加者)

- ・ 一部の学校を連想させる校名というところは、再編する3校の中の1校を連想させるというように読み取れたので、天栄は有効ではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 天栄は有効になると考えているが、表現方法を検討させていただく。

(参加者)

- ・ 児童生徒の投票後に、準備委員会で協議は行わないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 協議を行うかどうかについて、意見があればお願いしたい。

(参加者)

- ・ 1案に絞るのは荷が重い。

(参加者)

- ・ 児童生徒の投票後、結果を準備委員会で共有してもらいたい。

(参加者)

- ・ すぐに候補を絞るのは難しいと思うので、結果は前もって共有してもらいたい。

(教育委員会事務局)

- ・ 準備委員会の部会で、1次審査を進めて何点か候補を絞り、児童生徒に投票してもらい、投票結果を部会に共有する方向で検討させていただく。

(参加者)

- ・ 応募箱の設置場所に応募用紙は設置するのか。

(教育委員会事務局)

- ・ そのように考えている。

(参加者)

- ・ 応募用紙の小学校の表記は無くすのか。

(参加者)

- ・ 市内に小学校が複数ある中で1つだけ小学校ではなく学園とするのは難しいと思う。
- ・ 仮に義務教育学校へ名前を引き継いでいくことになったとしても、小学校から学園に名前が変わっていくのであれば、自然だと思うが、今回再編した小学校だけが学園という名前になるのは違和感がある。

(参加者)

- ・ 教育委員会として違和感はあるか。

(教育委員会事務局)

- ・ 1つの小学校だけが学園という名称になるのは違和感がある。

(参加者)

- ・ 学校再編を行っていく学校を学園としていけばいいのではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 表現方法は検討させていただく。
- ・ 応募の際に、住所の記載を求めなくてもいいか。

(参加者)

- ・ 問題ない。

(参加者)

- ・ 児童生徒用応募用紙の言葉の表現を子どもにわかりやすくしてほしい。

3 今後のスケジュール 資料4

→資料に基づき説明。その後、質疑応答及び意見交換。

《質疑応答、意見交換》

(参加者)

- ・ 可能であれば、9月の部会の際に、閉校式に関する内容も検討したい。

(教育委員会事務局)

- ・ 今回いただいた意見を踏まえ、校名応募用紙を修正させていただく。
- ・ 次回は、修正後の応募用紙の内容を最終確認していただき、校章・校歌、閉校式についても検討していきたいと考えている。

4 次回の会議について

- ・第3回総務部会の開催日は、令和6年9月3日(火)午後7時からに決定。

5 閉会

以上